

美 楽 舎

B i G a K u S Y a
Newsletter

No. 301

会報 第 301 号 (平成 28 年 11 月発行)

東京都中央区銀座 1-13-4 大和銀座一ビル6F
K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004

Mail kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP <http://bigakusya.com>

第 325 回 (10 月) 例会

中国陶磁勉強会

2016 年 10 月 9 日 (日)

参加者：会員 3 名

会場：根津美術館

【幹事報告 片岡靖雄】

10 月例会は久しぶりの根津美術館企画の「中国陶磁勉強会」を鑑賞する会でした。当日の参加者は北林さん、河谷さん、片岡の 3 名で大変和やかな鑑賞会でした。根津美術館訪問は 10 年ぶりで、隈研吾設計の美術館は 9 月訪問した馬頭広重美術館に続きました。

●根津美術館

根津美術館は絶好調のスカイツリーで有名な東武グループの開祖根津嘉一郎の邸宅跡であり、青山の一等地に 5000 坪の茶室付日本庭園を有する美術館です。又同美術館は国宝燕子花 (かきつばた) 屏風・尾形光琳作やその他古美術品を多数所有する代表的美術館です。

●中国陶磁勉強会

中国陶磁勉強会とのタイトルにかなり期待していたが、鑑賞の結果は、書画は期待以上、陶器青銅器関連では期待倒れの感想です。

書画については、6 月例会講師の武井義親氏も述べていましたが。中国においては、唐時代以前の本物の書画は存在していないと断言しておりました。偶々、牧鶏 (もくけい) 筆の国宝「漁村夕照図」(13 世紀南宋時代) や伝牧鶏筆 2 点が展示されており大変貴重な作品を見られたと一人感心しておりました。

半面、メイン展示の陶磁については目玉の窯変天目茶碗 3 点については国宝の窯変天目とは模様の完成度がかなり相違した天目茶碗でした。

